

胸部外科教育施設協議会 令和4年度第2回幹事会議事録

日 時：令和4年10月5日（水）12：15 開始

場 所：パシフィコ横浜 ハーバーラウンジ B

幹事会冒頭で坂本会長より、6月11日（土）～12日（日）に第34回胸部外科教育施設協議会学術集会が岐阜ハートセンター（当番幹事 富田伸司先生）において開催した旨を報告した。

次 第

1. 胸部外科教育施設協議会 副会長の選任について

長らく副会長を務めていただいた奥村 典仁 先生が定年退職によりご退任されることとなった。後任の副会長として板東 徹 先生（聖路加国際病院 呼吸器センター）をご推薦いただき、本会においてご承認をいただいた。

2. 胸部外科教育施設協議会 英語名称について

この協議会の英語名称が”Council of Designated Teaching Institutions”であり「胸部外科」という表記が抜けている。「胸部外科」という要素を盛り込んだ形で英語名称の変更を検討したい。前回の会議での意見を参考に下記名称案を考えた。

案1) Council of Designated Teaching Institutions for General Thoracic Surgery

案2) General Thoracic Surgical Club for Designated Teaching Institutions

これについて幹事からは下記のような意見があった。

- ・英語名称の略称も同時に考えていきたい。
- ・アメリカに General Thoracic Surgical Club というものがあるが、これは心臓血管外科を除いた肺と食道の外科を指しているので、心臓血管の印象が薄くなってしまいかもしれない。心臓血管外科を含める言い方にするならば General Thoracic & Cardiovascular Surgery が適切かと思う。
- ・短くまとめるならば Cardio-Thoracic Surgery かどうか。
- ・海外向けを意識するのであれば Japanese をつけるべきなのか。
- ・日本胸部外科学会が The Japanese Association for Thoracic Surgery で、日本では Thoracic Surgery の中に心臓血管も含んでいるので、Thoracic Surgery だけでも良いのでは。

これらの意見から General が入ることによって心臓血管外科『以外』が強調されて

しまうので General は抜く方向で検討していくこととなった。

来年度の総会で決定できるように、幹事内でアンケート（もしくは投票）を計画する。

3. 第 34 回学術集会 収支報告（富田先生より）

6 月 11 日、12 日開催の第 34 回学術集会の収支について資料 1（収支報告書）に沿って当番幹事 富田 伸司 先生よりご報告いただいた。

事務局より 100 万円を学術集会運営費用としてお渡しし、最終的に 456,120 円が余剰する形となった。当初は学術集会参加費 2,000 円を徴収する予定であったが、施設年会費を払っていただいている方を対象とした特例を設け、参加費は無料として運営することができた。

富田先生より学術集会を振り返って、今後ハイブリッド開催を継続していくことを考えた時に、参加者の多くが WEB 参加に流れてしまわないように、現地参加ならではの楽しさを失わないようにすることが肝要とコメントを頂いた。

4. 第 35 回学術集会 開催のご案内（川島先生、江連先生より）

第 35 回胸部外科教育施設協議会学術集会の当番幹事である川島 修 先生（渋川医療センター 呼吸器外科）、江連 雅彦 先生（群馬県立心臓血管センター 心臓血管外科）より資料 2（学術集会ポスター）の通りご案内をいただいた。

日程は令和 5 年 6 月 17 日（土）～18 日（日）にて、会場は伊香保温泉を予定している。参加者が多ければ多いほど宿泊費も安くなるよう交渉できるので、是非多くの方にご参加いただけるような学術集会を計画していきたいと当番幹事の川島先生、江連先生よりご挨拶をいただいた。

6. 第 36 回学術集会の当番幹事決定のご報告

令和 6 年度に開催予定の第 36 回学術集会 当番幹事が中村 雅則 先生（市立札幌病院 心臓血管外科）に決定したため、幹事会にてご報告をした。中村先生より、呼吸器外科の先生ともタイアップして開催することも検討し、楽しい会となるよう準備していきたいとご挨拶をいただいた。

7. 交代幹事のご報告

資料 3 のとおり、交代幹事のご報告を行い承認いただいた。

8. 日本胸部外科学会定期学術集会でのブース展示のご案内

第 75 回日本胸部外科学会 定期学術集会にて教育施設協議会のブースを出展している。

今回は修練施設に対してリクルート情報掲載の募集をかけて、応募があった施設を

すべてブースに貼りだすことにした。各施設の右下に QR コードがあり、これを読み取っていただくと、教育施設協議会のリクルート情報のページにアクセスできる仕組みとなっている。来年度もこの形を継続したいと考えているので、是非活用していただけたら幸いである。

【実際のブース写真】



リクルート情報は1施設分をA4弱程のサイズにして並べて掲載しました

静岡県立こども病院・心臓血管外科

募集医師数	
初期研修医 (卒後1-2年目)	0名
外科系専攻医 (卒後3-5年目)	1名
医師 (卒後6年目～)	1名

詳細情報・お問い合わせは
こちらのQRコードから

最後に、坂本会長より外科系サブスペシャリティの機構専門医登録について、「外科系サブスペシャリティがまとまって、日本専門医機構と“参加しない選択肢も否定しないという提示もして議論を重ねている」ので、今後の動向に注意をしてほしい。新しい情報があればまた発信していく』とコメントがあり、会を終了した。

以 上

第 34 回胸部外科教育施設協議会学術集会 収支報告書

	内訳	金額	備考
収入	運営補助金	¥1,000,000	
	鵜飼い参加費	¥54,000	¥3,000 × 18 人分
	歴史ツアー参加費	¥39,000	¥3,000 × 13 人分
	合計	¥1,093,000	

	内訳	金額	備考
支出	講師謝礼	¥100,000	
	講師交通費	¥25,000	
	U40 発表者交通費補助	¥65,000	
	JTB (U-40 発表者宿泊費補助)	¥27,000	¥9,000 × 3 人分
	JTB (宿泊費補助)	¥12,000	¥1,000 × 12 人分
	JTB(管理費用)	¥13,500	¥900 × 15 人分
	懇親会費 (鵜飼い船代)	¥98,000	
	JTB (鵜飼い送迎バス代、バスガイド代)	¥60,000	
	昼食	¥67,500	
	懇親会前軽飲食	¥44,466	
	岐阜城資料館入場料 (歴史ツアー)	¥2,600	
	ロープウェイ運賃 (歴史ツアー)	¥15,400	
	飲み物 (歴史ツアー)	¥3,660	
	記念品	¥51,920	
	タクシーチケット	¥30,156	
	各種振込手数料	¥3,410	
	記念品送料	¥2,462	
	雑費	¥14,806	
	合計	¥636,880	

収入-支出：¥ 456,120

第35回胸部外科教育施設協議会 学術集会・総会 in ぐんま



本音を語ろう ～若手・ベテラン・女性医師の立場から～



大学以外の基幹病院（市中病院）の集まりです。
胸部外科教育についてみんなで考えましょう。
現地開催とWEBのハイブリッド開催です。

日時：2023年6月17日（土）

会場：伊香保温泉（群馬県渋川市）

翌日には群馬のよいところをご案内します。



国立病院機構渋川医療センター



群馬県立心臓血管センター

当番幹事

国立病院機構渋川医療センター 呼吸器外科 川島修
群馬県立心臓血管センター 心臓血管外科 江連雅彦

交代・退任幹事一覧

	施設名称	診療科	旧 幹事氏名	新 幹事氏名
1	神奈川県立循環器呼吸器病センター	呼吸器外科	田尻 道彦	荒井 宏雅
2	長良医療センター	呼吸器外科	藤永 卓司	-
3	倉敷中央病院	呼吸器外科	奥村 典仁	小林 正嗣
4	岐阜県総合医療センター	心臓血管外科	滝谷 博志	森 義雄
5	山形県立中央病院	呼吸器外科	塩野 知志	遠藤 誠
6	宗像水光会総合病院	心臓血管外科	田山 慶一郎	-

事務局追記：

幹事会では宗像水光会総合病院の新任幹事のお名前が入っていましたが後の確認で、新任幹事の先生から承諾の返信をいただいていたことが判明したため、空席に修正いたしました。